

## 1 生涯学習の支援と推進体制の整備

**めざす姿** 市民一人ひとりが生涯にわたって心豊かで潤いのある生活が送られるよう自発的意志に基づいて学習ができ、その成果が社会に生かすことができている。

	推移 (H25は見込み)				目標				
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H35
生涯学習に取り組みやすい(満足度調査)	3.12p	-	3.15p	-	3.2p	-	3.25p	3.30p	3.50p

26年度のポイント ① 多様化する学習ニーズに対応するための情報発信  
② 生涯学習プランの推進

### ① 社会教育総務管理事業 **継続** 【予算額 3,867千円】

#### 学習情報の提供

「まなびい」「生涯学習メニュー版」の発行による情報発信

#### アルプスふれあいキャンプの実施

自然体験・共同生活体験活動を通して、仲間づくりするとともに自主性や社会性など「生きる力」の育成を図る

#### 人権教育の推進

人権教育推進協議会を運営し、講演会等を行い人権教育を推進する

#### 全国大会出場者の激励

文化団体の全国大会出場者に対して激励する



みんなで協力して夕食づくり

アルプスふれあいキャンプ  
二次キャンプ  
於：戸倉山キャンプ場



今日のお昼は流しそうめん



生涯学習メニュー版  
公民館などで開催する  
講座等を紹介しています

### ② 公民館管理運営事業 **継続** 【予算額 31,492千円】

#### 3公民館共同事業の実施

年3回のふるさと講座の開催

戦後70年をテーマにして

公民館報の発行

#### 各公民館の管理運営事業の実施

公民館運営審議会の開催

学級・講座を企画運営し学習活動を展開する

公民館分館の育成(分館長・主事会の開催)

施設管理



ふるさと講座

春風亭愛橋独演会

## 2 生涯学習施設の整備と活用

めざす姿

地域の特性を活用しながら、学び・実践していく場所としての施設整備と活用がなされている。

	推移 (H25は見込み)				目標				
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H35
図書館や公民館などの利用環境が整っている(満足度調査)	3.63p	-	3.65p	-	3.65p	-	3.68p	3.70p	3.80p

26年度のポイント ① 老朽化していく学習施設の整備を進めます。  
② 生涯学習活動を支援します。

### ① ふるさとの丘管理運営事業 **継続** 【予算額 8,012千円】

指定管理による維持管理

竹花工業(株)駒ヶ根支店に指定管理を委託し施設の維持管理を行う

ふるさとの丘施設用地の借用

6人の方から借用している土地の賃借料

### ② 十二天の森整備運営事業 **継続** 【予算額 152,592千円】

施設用地を取得し市民の森として活用する

自然観察会、クラフト作成教室等の開催

立木伐採による環境整備

遊歩道等の整備

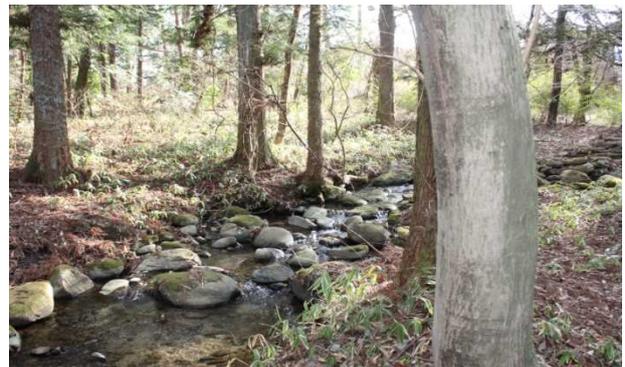
断層路頭箇所への保存管理



春の自然観察会より



秋の自然観察会



森の中の様子 小川



断層路頭部分の様子

### ③ 市民農園整備運営事業 **継続** 【予算額 117千円】

市民農園の貸出

市民農園 北割 23区画

南割 16区画

計39区画の貸出

市民農園用地の賃借料

1 文化財の保存と多面的な活用の推進

めざす姿

貴重な文化財の調査研究・保存に努め、有効に活用しながら、次世代に引き継ぐ意識の高揚が図られている。

	推移 (H25は見込み)				目標				
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H35
文化財の指定件数		36件	40件	-				45件	50件

26年度の  
ポイント

- ① 新たな文化財の指定
- ② 文化財の有効活用を図る

① 竹村家管理運営事業 **継続** 【予算額 2,348千円】

指定管理による維持管理

駒ヶ根伊南シルバー人材センターに指定管理を委託し施設の維持管理を行う

施設用地の借用

借用地の賃借料



旧竹村家住宅 文化財防火デー  
消火訓練の様子

② 文化財保存事業 **継続** 【予算額 2,106千円】

新たな文化財の指定

文化財審議会の開催

指定文化財の保存管理

旧木下家住宅

民俗資料館

赤須城跡

芭蕉の松

文化財活用イベントの開催

旧木下家住宅活用イベント

「夢育屋」を2回開催

光前寺庭園整備活用委員会の開催

名勝光前寺庭園の整備を行うための活用委員会を開催する

文化財の修繕

郷土館 建物の修繕を行う 2,000千円

内壁の塗装し直し

【H26補正 地方創生交付金分】



旧木下家住宅 (中沢 中山)  
活用イベント「夢育屋」開催



郷土館 (菅の台)  
幸せの森プロジェクト



芭蕉の松  
(東伊那 火山)

③ 埋蔵文化財発掘事業 **継続** 【予算額 100千円】

埋蔵文化財発掘調査委託

埋蔵文化財包蔵地において緊急的に発掘調査が必要となった場合に実施する  
その後、事業主より調査費を補填させる

## 2 創造的な文化芸術活動の推進

めざす姿

多くの市民が優れた文化芸術に触れる機会を持ち、自らも文化・芸術活動に参加をしている。

	推移 (H25は見込み)				目標				
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H35
文化芸術に親しみやすい(満足度調査)	3.01p	-	3.05p	-	3.10p	-	3.15p	3.20p	3.70p
文化センター利用者数		150千人	151千人	152千人	154千人	156千人	158千人	160千人	170千人

26年度の  
ポイント

- ① 文化施設の整備を進めます。  
② 優れた文化を鑑賞する機会を提供します。

### ① 総合文化会館の運営 **拡充** 【予算額 240,978千円】

#### 文化センター管理運営事業 (213,347千円)

- 駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し各種事業の実施及び施設の維持管理を行う
- 自主事業の開催
- 伝統芸術文化の継承と保存
- 文化団体、鑑賞団体の育成と支援
- 施設管理
- 駒ヶ根市文化財団職員の人件費補助
- 専門的職員を育成し、身分保証していくため 嘱託職員を正規化する
- 駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し勤労青少年ホーム女性ふれあい館運営を実施
- 勤労青少年ホーム、女性ふれあい館によるスキルアップ講座等の開催
- 施設の大型修繕
- 自動火災報知設備の更新

#### 図書館管理運営事業 (22,582千円)

- 駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し図書館運営を実施
- 図書、諸資料の購入による蔵書資料の充実を図る
- 子ども活動推進計画による、
  - ・ブックスタート、セカンドブックの実施
  - ・絵本巡回事業の実施
  - ・おはなし会等の行事の開始

#### 蔵書数及び貸出数の推移

	平成23年度 (実績)	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (予定)	平成27年度 (目標)
蔵書数(冊)	181,297	182,940	183,776	184,000	184,700
貸出数(冊)	210,045	208,847	203,942	210,000	210,200

#### 博物館管理運営事業 (2,442千円)

- 駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し博物館運営を実施
- 第14回「駒展」の開催
- 各種企画展示の開催
- 資料の収集整理
- 収蔵資料集 約127千点



守屋貞治作の石仏  
守屋三代による石仏  
上伊那各地に見られる

#### 天竜かっぱ広場管理運営事業 (2,607千円)

- 駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し天竜かっぱ広場運営を実施
- 親子ふれあい講座、ミニホット講座の開催
- 館収蔵資料・作品による企画展示の開催
- 竜東地域活性化への協力
- 施設管理

1 市民スポーツの推進  
と環境整備

めざす姿

- ・スポーツを親しむ市民が増えている。
- ・市民出身のアスリートが各種大会で活躍している。

	推移(H27は見込み)				目標				
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H35
スポーツ少年団の小・中学生の加入割合		23.4%	22.9%	20.6%	23.0%	23.5%	24.0%	25.0%	26.5%
週1回以上スポーツを実施する市民の割合		32.0%						50.0%	65.0%

27年度のポイント ① スポーツがもつ本来の力から、地域コミュニティや絆を構築し、一体感ある地域を目指します。

① 市民体育館の大規模改修 **新規** 【予算額 340,800千円】

市民スポーツの殿堂でもある市民体育館は、建築から45年が経過し、老朽化による危険箇所の出現や耐震化、施設全体のバリアフリー化などの課題が多くありました。  
そこで今年度、施設の耐震化工事と併せてバリアフリー化やアリーナの拡張など大規模な改修工事を実施します。  
この工事のため平成28年3月までの間、施設の利用ができずご迷惑をおかけしますが、改修後は、利用者が安全にスポーツに親しみ、現在よりもハイレベルなスポーツ競技も実施、観戦できる予定です。



② 第3回信州駒ヶ根ハーフマラソンの開催 **継続** 【予算額 7,058千円】

過去2回の大会では、大会を軸に地域の一体感が生まれ、全国ランニング100撰にも選ばれることができました。  
今年も全国から参加する約3,000名のランナーの皆さんを、沿道での応援やスタッフとして大会を支える市民の皆さんの笑顔あふれる「おもてなし」でお迎えし、今回はランニング100撰と共に「信州おもてなし大賞」への入賞も目指します。



開催日：平成27年9月27日(日) 参加者 3,000名(ハーフ、5Km、)

③ 小学生のかけっこ教室 **継続** 【予算額 490千円】

○誰もが親しみやすく、あらゆるスポーツの基礎となる「かけっこ」を通して、子どもの体力向上やスポーツに親しむ機会を増加させ、家庭や地域内でのスポーツによるコミュニティづくりから地域全体のスポーツ推進を図って行きます。

「駒っ子かけっこ教室」の開催と「かけっこ検定」の策定

かける駒っ子 かけっこ教室

小学生は昨年に引き続き、陸上短距離で元オリンピック選手の青戸慎二氏や地域・学校の指導者から、青戸氏作成のかけっこマニュアルを基に早く走るコツや走る楽しさを学びます。親子で参加して家庭にもかけっこの輪を広げます。

かけっこ検定の策定

かけっこマニュアルを基に、例えば「腕振りを正確に20回 10秒でできたら〇〇級」といった「かけっこ検定」を策定し、子ども達は検定合格を目標に、学校や家庭、地域でのかけっこの輪を広げ、スポーツに親しむ子どもを増やします。



④ トップアスリートとの交流事業 **新規** 【予算額1,000千円】【H26補正 地方創生交付金分】

オリンピックやW杯に出場したトップアスリートや、国内トップスポーツで活躍しているアスリートを講師に招き、「夢」を持つことの大切さを語ってもらい、実際に指導を受け交流することから、市民や子どもたちの「夢」を育みスポーツへの興味関心を喚起していきます。

また、地域でスポーツの指導に携わる人や、これを志す人へもアスリートによる指導者セミナーを開催し、指導者としての心構えや指導方法を学び、指導者の育成や人材発掘へと繋げていきます。